

「新しい制度創造を」

セミナー合宿 人流観光研 始動



タクシー産業の未来を切り開く目的でセミナー合宿を開くチームネクスト（代表世話人・天野清美づばめ自動車社長、事務局長・清野吉光システムオリジン社長）は18、19の両日、東京・中野区の帝京平成大学で講演会とパネル討論を行った。元国土交通省行政

官で前加賀市長の寺前秀一・帝京平成大観光経営学科長が「Google（グугл）戦略からみるこれらの人流・観光」と題し3時間半にわたり講演（写真、「いま必要なのは新しい制度創造で、乗り放題の定期運賃の導入である」と強調した。

だが、これはGoogleの人流戦略の一つで「人流業発展の兆しが見られる」とし、「検索機能が進化した人工知能を駆使し、マーケットを先回りして人を動かす。タクシーでいえば『呼ばれる前に配車する』ということだ」と指摘した。同氏は「大胆な予想だが」とした上で、Googleは①日本の中堅旅行会社を光研究所の所長に就任。所長の立場から「人流」の発想を提起した。同チーム代表が今回をもって天野氏から兼元秀和キャビック社長（京都）に交代したことも報告された。

寺前氏は講演で、Googleの関連企業であるUber（ウーバー）をそよに乗せ、Googleの幅広い事業戦略を解説。米国発のスマートフォンアプリ利用のオンデマンド配車サービスを提供するUberなど議論した。

▼パネル討論は2面詳報 寺前氏はシステムオリジン内に設置された人流・観光研究所の所長に就任。所長の立場から「人流」の発想を提起した。同チーム代表が今回をもって天野氏から兼元秀和キャビック社長（京都）に交代したことでも報告された。

寺前氏は講演で、Googleの関連企業であるUber（ウーバー）をそよに乗せ、Googleの幅広い事業戦略を解説。米国発のスマートフォンアプリ利用のオンデマンド配車サービスを提供するUberなど議論した。

人流情報を把握しマーケティングに活用、新しい総合生活移動産業を構築していくと予測。2日目のパネル討論では「Uberの下請け化をどう防ぐか」（天野づばめ自動車社長）